

輸入牧草用ラップの 現地適合性の確認



JA今金町

鈴木 真



①H29.11.20 Silage Film(慣行品)



②H29.11.20 Silage Film(慣行品)



③H29.11.20 グラスウインド(試験品)



④H29.11.20 グラスウインド(試験品)



⑤H29.11.20 白黒:試験品、白:慣行品

試験目的

輸入牧草用ラップの現地適合性の確認

試験作物 及び品種

デントコーン

試験資材 及び数量(規格)

グラスウインド(0.025mm×500cm×1,800m) 白・黒 各1本

慣行資材

Silage Film(0.025mm×500cm×1,800m) 白

資材使用期間

10月12日～10月13日

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
作業性について、慣行品と差を感じなかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
使用時は特に気ならなかったが、出来上がり数量が慣行品は2本で41～42個となるのに対し、試験品は38～39個となっていたため、若干伸びが悪いと感じた。
ただし、伸びに関しては気温により差が出る可能性があるため、作業時の気温が影響した可能性がある。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】: 特になし。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について
切れ・割れがなかったため、大きな影響はないと思われるが、経過観察を行いたい。

モニター感想

試験品については、使用するうえで慣行品と大きな差は感じなかった。
牧草用ラップフィルムは、作業時に切れたり、保管時に割れたりすることがなければ、コスト削減に向けて安価品の使用を検討していきたい。

JA担当者の感想(生産資材課 佐々木課長)

試験品については、特に問題なく使用できるため、今後の普及拡大を図っていきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
経過観察をして、問題なければ使用を検討したい。

- 1 高温対策
- 2 青虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 多量ネット広帯
- 5 クリネット
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他